



一般社団法人
全国高等学校PTA連合会

一般社団法人全国高等学校PTA連合会
(連絡先) 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-1 (奥田ビル) TEL03-5835-5711 FAX03-5835-5757
発行人 山田 博章 URL <http://www.zenkoupren.org/> eメール info@zenkoupren.org



会報
No.96

令和四年六月二十五日、この日より私の人生は一変してしまつた。

約二年半続いた「コロナウィルス感染症」による三密を避けるために今回も余儀なくされた書面決議による定時総会。そしてこの日、三年振りにリアルに対面にて行われた定時総会後の理事会に於いて、不肖私が第二代会長に選任される。

それから一週間も経たないうちに東北地区大会で岩手県、盛岡市へ。本来なら前日にレセプションが行われる予定であったが、これも「コロナ」の影響で中止になる。しかし、東北各地から来られていた各県連毎に懇親会が行われていたという情報を入手していた岩手県高P連の大柏会長が「一緒に各県連を回りますよ」と誘ってくださり、一晩の間にかなりの方々と親睦を深めることが出来た。そして翌日の東北地区大会の開会式には、前夜の懇親の甲斐



2022年度(令和四年度)を振り返って

一般社団法人全国高等学校PTA連合会会長 山田 博章

もあり、かなりフレンドリーに東北地区の方々を受け入れて頂けた。

その後は、大阪市で行われた近畿地区大会にも参加をさせて頂いた。六年前に単Pの会長として同じ「グランキューブ」の会場の客席から参加をしていたのが、今回は全国の会長として壇上から挨拶をさせて頂いた。いてという奇妙な感動を味わうことができた。また私の所属する同じ近畿というところで、多くの旧友にもお会いすることができた。

更に、その一週間後には中国四国地区大会で愛媛県の松山市へ。瀬戸内海を渡つての久しぶりの四国であり、初めての松山市ということに、厳かな松山城には驚かされた。

同じく七月には、八月下旬に行われる全国大会石川大会への来賓依頼という事で金沢市へ。粟田実行委員長や中村石川県連会長そして下根事務局長らの先導のもと、石

川県の馳知事や金沢市の村山市長と面談をし全国大会へのご臨席を依頼する。その後、大会会場になる「いしかわ総合スポーツセンター」を視察し会場の大きさに驚かされながらも、大会の成功を祈念してお互いに鼓舞する。

そして、待ちに待った全国大会当日。リアルに全国から会員が集まるのは京都大会以来、実に三年振りである。その間の島根大会は一年目は延期、二年目は会場にも観客を入れるハイブリッド形式での開催を計画していたが、寸前になってコロナ感染症拡大の五波の直撃を受け、無観客によるオンラインのみの開催となつてしまひ、準備をしていた島根大会の実行委員会の皆さんの無念も計り知れないものがあつたであろう。

それを経ての今回の開催であり、石川大会実行委員の皆さんの熱気も溢れており、それ以上に

全国各地から参集された皆さんの笑顔を見ていると、「本当にリアルに開催ができて良かった」と実感することができた。閉会式も終了し、壇上にて実行委員会の皆さんと共に写真を撮った時の達成感は何とも言えないものがあつた。

九月に入り「学制百五十年記念式典」が天皇皇后両陛下のご臨席を賜り厳かに執り行われ、歴史の重みと今日に至るまで尽力をされた方々の功績に対して改めて尊敬の念を覚える。

そして私たち「全国高等学校PTA連合会」と活動を共にする「日本PTA全国協議会」や「全国国立学校付属学校PTA連合会」の会合にも参加をさせて頂いた。き、お互いの活動についても色々と情報交換をすることができた。

また、当連合会の理事会に於いては、コロナ禍前に作成した「全国大会ガイドライン」の見直し

今号の主な内容

会長挨拶	1 頁
令和4年度 全国高P連の活動報告	2～3 頁
地区トピックス	3～10 頁
北海道地区／東北地区／関東地区／東海地区／近畿地区／中国四国地区	
全国高P連 令和4年度調査広報委員会アンケート実施結果	11～13 頁
第72回全国高等学校PTA連合会大会宮城大会(ご案内)	14～15 頁
賠償責任補償制度のお知らせ	16 頁

や「理事会推薦理事」の選考方法等課題も山積であり、理事の方々には本当にご苦労をお掛けした。そして、十月には二年半振りに全国から会長・事務局長がリアルに集まる「連絡会」が開催され、

まだ懇談会までには至らなかったものの、お互いに顔を突き合わせながら会話ができたという有り難さを痛感し、その翌年二月に行われた「会長・事務局長研修会」に於いては丸三年振りに懇談会

が開催され、久しぶりにより一層の親睦を深めることができた。このように、一年を振り返ると、泉前会長のご苦勞がしみじみと感じられ、また生徒や保護者の皆さんがどれだけ苦しい

立場でこの「コロナ禍」を乗り越えて来たかということを実感させられた。またこの間に、PTA活動に対する見方や考え方も変わってきたかのようにも思われるが、あくまでもPTA活動は、未

来ある子ども達の為に保護者がどれだけ陰になり日向になり応援をできるか、ということに尽きると思う。ICTやIoT等世の中は目まぐるしい速さで変化をして行くが、私たちPTAは今後

とも子供たちを応援する持続可能な活動をして行きたいと考えておりますので、次年度も変わらずのご支援・ご協力の程、宜しくお願い致します。

令和四年度 全国高P連の活動報告

令和4年度定時総会開催

令和4年6月25日(土)令和4年度定時総会は本会会議室にて書面決議により開催いたしました。

本会会員の都道府県市高等学校PTA連合会から提出いただいた議決権行使書を集計した結果、第1号議案ならびに第2号議案とも多数の賛同を得て可決されました。

総会終了後に開催いたしました第3回理事会において山田博章氏が代表理事(会長)に選任されました。

第71回全国高等学校PTA連合会大会石川大会開催

★輝く未来への礎

～親から始める

新時代の教育★

8月25日(木)、26日(金)の二日間に渡り、3年ぶりに参集型の全国大会が石川県金沢市で開催されました。

石川大会粟田実行委員長はじめ実行委員会の皆様、お手伝いくださったスタッフの皆様、元気いっぱいのアトラクションを披露してくださった石川県の高校生たち、そして全国からご参加くださった約5,000名の会員の皆様、皆様のお力で盛大に開催できました。ありがとうございました。



石川県高校生によるアトラクション



開会式

令和2、3年と全国高P連会長として重責を担った泉満氏に表彰状が贈られました



分科会

感染に留意しながらの開催

開会式



開会式

令和4年度全国会長・事務局長連絡会開催

令和4年10月9日(日)東京ガーデンパレスにおいて、会長・事務局長連絡会が開催されました。

3年ぶりの感染防止策を講じた参集型開催には、全国から連合会長並びに事務局長にお越しいただき、全国大会石川大会報告 来年度開催の宮城大会案内 理事会報告 質疑応答がされました。



令和4年度全国会長・事務局長研修会開催

令和5年2月4日(土)東京ガーデンパレスにおいて「令和4年度全国会長・事務局長研修会」が開催されました。

事後のアンケートでは、いずれもご好評をいただき、各連合会では学校PTAにこうした研修の機会を是非にというお話をいただきました。



北海道地区

北海道高等学校PTA連合会

ポストコロナを牽引する

旭川東高校のPTA活動

はじめに

コロナの感染防止には注意を払うものの、これまでほどには、コロナ対策が社会施策の重点に位置づけられない時代となったという意味で、「ポ

ストコロナ」の言葉が使われるようです。今年の北海道は春の訪れが早く、3月中旬には札幌の街の雪も消え、ポストコロナの開放感もあり、期待の膨らむ新年度となり

ました。

PTA活動も強い制約がなくなりますが、単にコロナ前の活動に戻るのではなくこの三年間で培った知恵を活かしながら活動の充実を図りたいも

のです。

今号では、旭川東高校PTAの活動の概要を紹介いたします。コロナ禍にあっても活動意欲の旺盛さと創意工夫の姿には高い評価が寄せられています。



法務省

高校生の方へ～成年年齢と契約について～



文部科学省

大学入学者選抜をめぐる最新の動向について



(株)リクルート

半径5mからの問いが、変えていく世界

令和4年度調査広報委員会アンケート実施

令和4年度全国高等学校PTA連合会アンケートにご協力くださいました加盟校PTA会長様、副会長様ありがとうございます。調査結果は、全国高P

連としての要請行動や研修会等でも活用させていただきます。

実施期間…
令和5年2月17日(金)～令和5年3月24日(金)
回答件数…
1,822件

保護者向け薬物乱用防止パンフレット発行
NO!DRUG うちの子に限って…本当に大丈夫ですか…？
令和4年度「薬物乱用防止パンフレット」が完成し、全国の都道府県市高等学校PTA連合会加盟校へ順次お届けしております。



※このパンフレットは、一般財団法人日本宝くじ協会の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

旭川東高校の教育とPTA活動

旭川東高校は、明治36年に北海道庁立上川中学校として開校し、令和5年に創立120年を迎えます。この間、道北の拠点校として優れた教育活動を展開し、国内はもとより世界で活躍する多数の有為な人材を輩出しています。平成20年から、北海道教育委員会の「医進類型指定事業」の指定を受け、道内外の医学部へ進学し地域の医療を支

える人材の育成に力を入れる他、社会の課題を予見・解決し、新たな価値を創造できる将来のリーダー育成に力を入れています。現在、全定あわせて約770人の生徒が、学校標語「シマレ ガンバレ」の下、何事も最後までやりぬき、夢を実現させる精神で様々な活動に取り組んでいます。

本校のPTAは、三役の下、教養委員会、生活委員会、広報委員会、学年委員会、定時制委員会

で構成されています。

教養委員会は、会員の教養を高めるための教養講座を中心とした取組を行っています。「Shall we EHON?」大人も『絵本』でコミュニケーションをテーマに絵本セラピーについて学び、「Let's Enjoy!」ズンバダンスでリフレッシュをテーマにダンスエクササイズを行いました。

生活委員会は、生徒の環境向上に係る支援や意見交換を行っています。学校祭でのバザー出店、オリジナルマスクの制作・販売と仮装行列の際の交通整理等を、急歩大会での誘導・給水・事故防止等を行う大会運営を

行いました。

広報委員会は、PTA広報紙『大空まどかに』を毎年2回発行し、PTAの活動を中心に編集しています。学校と保護者をつなぐ媒体となっており、令和2年・3年に、北海道高等学校PTA連合会優良PTA広報紙表彰を受けています。

学年委員会は、各学年の課題について理解を深めるための意見交換などを行っています。先輩保護者から受験を控えた子どもに対する向き合い方や受験時の対応などの話を聞く「受験生のための情報共有会」や、大学受験に際しての先輩保護者のQ&Aや体験手記を教

室の壁一面に掲示して、後輩保護者が見られるようにする「受験チャンネル」を行いました。

定時制委員会は、定時制の課題解決に向けた意見交換などを行っています。定時制保護者の意見交換会の他、学校祭やレクリエーション大会での支援やお手伝いをおして生徒の活動を見守っています。

これらの活動や取組が評価され、令和4年に、北海道高等学校PTA連合会功績団体表彰、全国高等学校PTA連合会功績団体表彰を受けています。



急歩大会



学年委員会「受験チャンネル」



教養委員会「絵本セラピー」

東北地区

秋田県高等学校PTA連合会

コロナ禍の変化に対応した高P連の取組

2020年4月、未知のウイルスCOVID-19（新型コロナウイルス）の感染拡大によって日本国内に緊急事態宣言が出され、国民の生活

は一変いたしました。秋田県高等学校PTA連合会とその傘下の加盟校のPTA活動も例外でなく、コロナ禍1年目の2020年度のPTA活

動は対面での会議のほぼ全面中止と書面審査による決議が続き、県高P連ではPTAの皆様の絆が徐々に薄れていくのではないかという不安を感じ

ておりました。そこで、コロナ禍2年目の2021年度は、この年就任された湊屋啓二新会長のリーダーシップのもと、高P連の役員の

皆様と事務局とでタッグを組んでこの前例のない事態をどのように打開していけばよいのかアイデアを出し合い、行動を起こし、一つ一つ経験を積み重ねていきました。その中で特に力を入れて取り組んできたことがICTの活用であり、ICTを取り入れることで、コロナによって集まれなくなった会議や話し合いを書面で取り決

めるのではなく、できるだけ会員の皆様とICTを使って画面上で顔を合わせて話し合うことで、皆様の心の交流が実感できる環境を整えましようというものであります。前年度からすでに導入していた有料会員（上限100名の参加者の会議が可能）用のZoomを使って、まずは正副会長・監事さん（三役）が率先して三役の会議や打

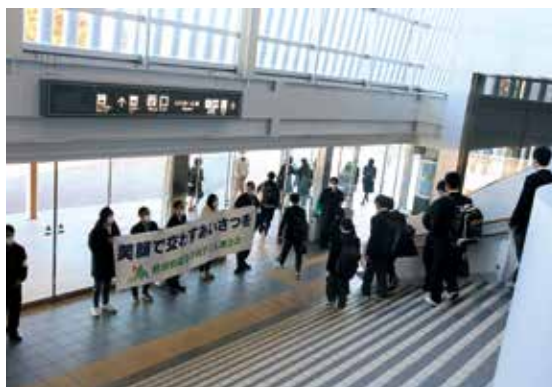
合せをWeb上で開催し、ICTを活用したWeb会議の経験を積み重ね技能を高めていきました。そして、2月に開催される全県正副会長会議（全加盟校の正副会長が参加）をWeb会議に挑戦し、多くの参加者の皆様とICT端末の画面越しで会議を行うことに成功しました。Web会議に慣れていない参加者への対応等課題もありましたが、この成功は県高P連の自信に繋がり、各委員会レベルの会議もZoomを活用することへと進展していきしました。ICTの積極的な活用によって、高P連と加盟校の皆様との心の交流が徐々に回復できた1年間であったと感じております。

コロナ禍3年目の2022年度は、Withコロナによる社会全体の行動制限の緩和も重なり、2年目で成功したICTの活用をステップアップさせながら、前年よりは精神的なゆとりをもって役員の皆様と主催事業に取り組むことができました。ICTを活用した新しい取り組みとしては、県高P連でYouTubeチャンネルを開設し、県高P連が主催している各種の講演会をYouTubeで会員の皆様へ動画配信し、多くの会員の皆様にご覧になっていたという環境を整えました。現在は3つの講演会を公開しましたが、役員の皆様からはもっと多くの機会を作ってほしいとの好意的な反応もあり、今後の検討課題であります。また、この頃になると、役員の皆様からもコロナ禍前の活動にできるだけ戻したいという機運も高まり、県高P連の各委員会の中で加盟校のPTA活動が活気を取り戻すための積極的な議論が出るようになってきました。一つの例として、「登校時一声運動・マナーアップ運動」の実施率は健全育成委員会です。

最後に、新型コロナウイルスもこの5月から感染症法上第5類に分類されることでPTA活動も通常の活動に戻ってくることを推察します。県高P連事務局では、これまでの3年間の経験を生かして、Withコロナに対応できる柔軟な運営に心がけ、秋田県高P連の活動が安心安全に、そして活発に行うことができます。



委員会でのZoom会議



横断幕を掲げて登校時一声運動・マナーアップ運動

るようこれからも知恵を絞って支援に尽力してまいります。

秋田県高等学校PTA連合会 母親委員会
第35回母親会員交流会

「豊かなコミュニケーション能力を育み地域社会をつなげよう」

講師 夢工房 咲く・咲く代表のと ゆうこ
能登 祐子氏

秋田県高等学校PTA連合会会長 藤原 典子
秋田県高等学校PTA連合会副会長 佐藤 由美子
秋田県高等学校PTA連合会常務理事 佐藤 由美子
秋田県高等学校PTA連合会副常務理事 佐藤 由美子
秋田県高等学校PTA連合会副常務理事 佐藤 由美子

子育て中はPTA活動に取り組み、その後、地域活動へ積極的に参加、様々な活動とおして住みよい地域づくりや女性が地域活動に参画していくための場づくりを實踐中。

秋田県：秋田県高等学校PTA連合会
全国：女性のチャレンジ賞受賞

秋田県高等学校PTA連合会 母親委員会
「秋田の女性の活躍の場ネットワーク」にて
「夢工房」を運営しています。
https://www.mother.jp/ptafederation/

2022年11月22日(火)に生涯学習センターにて実施した左記の講演動画を限定公開いたしますのでぜひともご視聴ください

下記URLまたはQRコードよりご視聴ください
https://youtu.be/1UWVLTtXKSM

秋田県高等学校PTA連合会
事務局 〒02-0005
秋田県立中央会館3F
秋田県高等学校PTA連合会
TEL: 018-885-0005
FAX: 018-885-0005

講演会のYouTube動画配信



3年ぶりの情報交換会の復活

関東地区

群馬県高等学校PTA連合会

コロナの中で出来ることから

はじめに

関東地区では毎年7月に7県の持ち回りにより大会を開催しています。コロナの影響で、令和2年度（群馬県）・令和3年度（山梨県）と2年連続で大会が中止となっていました。今年度は神奈川県で現地開催1日（分科会はWeb開催）として何とか実施することが出来ました。また、今年度初めて大会の前日に開催していた総会を別日程で実施する分離開催としました。

さて、群馬県高等学校PTA連合会においては、6月の総会は3年連続書面表決となつてしまいました。コロナ禍前は500名を超える参加者があり、温泉に宿泊し懇親を深めていましたが、今後このような規模・企画で実施できるのか非常に厳しい状況であるといえます。その中でも、10月に4地区に分けて行われる地区別研究集会

と11月に実施される「県指導者研究集会」が実施できたことは大変意義深いと感じています。その中の一部を今回紹介します。

地区別研究集会

県内を東中西北の4地区に分け、毎年10月に実施しています。群馬県はヤマト王権時代に上毛野（かみつけの）と呼ばれており、そこから県内を分けるときに「毛（もう）」の字を使うことがあり、本連合会でも、東毛・中毛・西毛・北毛と表記して分けています。

1 東毛地区（参加24校）

10月14日（金）太田市新田文化会館（エアリスホール）で開催。研究協議の発表は、桐生高校・館林女子高校・常磐高校・桐生清桜高校のPTAが行い、誌上発表として、館林高等特別支援学校・太田市立太田高校・桐生工業高校・西邑楽高校の4校が行いました。その後、

記念講演が実施され、「成年年齢引き下げと若者の消費者トラブル」親として知っておきたいこと」の演題で、講師は久保敏氏（群馬県金融広報アドバイザー）が務めました。参加者は170名でした。

2 中毛地区（参加19校）

10月6日（木）伊勢崎市境総合文化センターで開催。研究協議の発表は、前橋南高校・前橋商業高校・伊勢崎商業高校・玉村高校のPTAが行いました。中毛地区では高校生による意見発表も行っており、前橋南高校・前橋商業高校・伊勢崎商業高校の4校が、生徒会活動や生徒の取り組みについて発表しました。参加者は152名でした。

3 西毛地区（参加29校）

10月14日（金）高崎市総合福祉センターで開催。記念講演は、「人生100年時代の社会人基礎力」社会で生きる力を身につけるために高校時代にできること」の演題で、講師は本多博己氏（群馬ヤクルト販売株式会社代表取締役会長）が務めました。その後の研究協議の発表は、高崎工業高校と安中総合学園高校のPTAが行いました。参加者は96名でした。

4 北毛地区

新型コロナウイルス感染症の関係で、今年度集合研修は実施しませんでした。

県指導者研究集会

11月17日（木）前橋テルサで3年ぶりに開催。新型コロナウイルス感染症の関係で参加を各校3名以内と制限して実施しました。記念講演では、本県で高校教諭として、また、野球部の監督として活躍し、退職後は県内のプロバス

ケットボールチーム「群馬クレインサンダーズ」の代表取締役社長として奮闘している、阿久澤毅氏の話を拝聴しました。

研究協議では、各地区の代表として、沼田高校・伊勢崎商業高校・安中総合学園高校・桐生清桜高校の4校のPTAが発表を行いました。参加者は39名でした。

おわりに

新型コロナウイルス感染症の関係で各地区の幹事校の皆様には開催に当たり、様々な苦労があったと推察されます。本当にお世話になりました。県の指導者研究集会も3年ぶりということもあり、コロナ前の指導者研究集会を経験していないPTAの方々が大半であり、運営面でも手探りの状態から始まり、なんとか開催に漕ぎ着けました。本部役員・理事の方々に改めて感謝申し上げます。

今後の状況はどうなるか不透明ですが、ウイズコロナでやっていくことに代わりはありませんので、出来ることから思っています。



県指導者研究集会記念講演



県指導者研究集会会長あいさつ



中毛地区発表生徒

東海地区

岐阜県高等学校PTA連合会

令和4年度東海地区高P連

「愛知大会」実践発表校の紹介

コロナ禍ではありましたが、参加者を各学校1名までと人数制限をすることで令和4年6月17日(金)に東海地区高P連「愛知大会」が開催されました。その大会で発表をされた愛知県立尾西高等学校PTAと三重県立四日市商業高等学校PTAの実践発表の要旨を紹介します。

愛知県立尾西

高等学校PTA

「地域の自然と親しみ、活用するPTA活動」
く伝統行事の運営に携わりながら、子どもの成長を見守る活動」

1 本校の概要

本校は、昭和52年に愛知県尾西市(現一宮市)に開校されました。学校の周囲には今も水田が多く見られ、すぐ西には岐阜県境となる木曽川が流れている自然が豊かな場所に位置しています。現

在は普通科3クラス募集で、生徒の5割が進学志望、残りが就職志望となっています。生徒が少数であることの利点を活用して、それぞれの志望に合わせたきめ細かい、学習指導、進路指導を行っています。また、普通コースのほかに情報ビジネスコースも開設されており、ITパスポートやP検などの情報関連の資格取得指導、情報機器の活用、近隣の小学校へのコンピュータ活用指導や大学との連携事業を中心とした学習指導を行っています。開校当初から校訓「真摯」のもと、一万名以上の卒業生を送り出してきましたが、昨年度の県立高等学校再編将来構想に基づき、令和6年度で閉校することが決定してしまいました。本発表では、本校の代表的な活動である闊歩大会と、木曽川の清掃ボランティア

について報告いたします。

2 地域の特色を活かした行事の支援とボランティア活動の参加について

闊歩大会は本校開校以来の伝統行事です。地域の自然に親しみながら自分のペースで木曽川河畔の往復30km以上の行程を歩ききる大変過酷な行事です。生徒一人一人が自分の最善ペースで移動するため、非常に多くの場所と同時に健康チェックや所在確認が必要となります。そこで、保護者の皆さんに協力依頼し学校と共同で下記の仕事をしています。

① 道路横断時の安全指導

② 2〜3kmごとに設置したチェックポイントならびにゴール地点(本校)における参加者点呼と健康チェック、ゴール地

点でのPTAからの差し入れ

③ 一緒に闊歩に参加し、安全確認と応援の声がけ、活動の記録(写真撮影など)



闊歩大会のPTA活動風景



清掃ボランティア後の集合写真

地域の自然に親しむことを目的とした闊歩大会ですが、河川利用させて

いただいている感謝の意を込めて、夏に木曽川で行われている濃尾大花火の会場の清掃ボランティアを行っています。濃尾大花火は令和3年度をもって廃止となりましたがその後同様に木曽川河畔で行われている一宮市びさい夏祭りの会場での清掃ボランティアを現在も継続しております。令和元年には活動の継続性が認められ、国土交通省から表彰されました。

3 結びにかえて

現在在籍している生徒の卒業をもって、本校はその歴史を閉じることとなっていますが、保護者教員が一致団結して生徒一人一人に寄り添いながら、また地域との連携を大切にしながら最後まできめ細かい教育活動、PTA活動を続けていくことを目指しています。

三重県立四日市

商業高等学校PTA

「コロナ禍でのPTA活動」

1 学校紹介

四日市商業高校は今年で126周年を迎え、通称「酒商」と呼ばれ古くから地元の人々に親しまれ、地元地域に多くの人材を輩出しています。

全校生徒の90%以上を女子で占め、その制服もデザインがかわらない茶色の制服で、三世代同じ制服を着用している家族もいます。

商業科と情報マネジメント科の2学科を設置して、それぞれの学科でコース制を引いており、日商簿記検定や基本情報技術者試験など多くの資格を取得しています。また、特徴ある授業の一つとして「課題研究」があり、この授業は学科の枠を超えて全員が探究活動に取り組み、酒商の広告塔として中学校へ訪問し模擬授業を行う『酒商しよう介し隊』など、15の講座に分かれて商業高校ならではの多彩な授業を展開しています。「コミュニケーション力」や「プレゼン力」など社会で必要な実践力を習得し、地域の方と一体となって学習しており、TVや地方雑誌等に取り上げられた事もあります。

また、部活動も盛んで、テニス部の全国選抜大会団体・個人ダブル優勝を始め、ハンドボール部、バスケットボール部などが全国大会で活躍しており、ギター・マンドリン

部などの文化クラブ、ワ
ープロ部などの商業系の
クラブも毎年全国大会に
出場し入賞しています。



地域と密着した課題研究の授業

2 PTA活動

例年のPTA活動とし
ては、役員が広報部、文
化祭部、研修部の3部
門に分かれ、年2回の
「PTAだより」の発行、
体育祭の参加、文化祭で
も輪投げゲームの出店を
して活動していました。
一昨年度はコロナの影響
で体育祭も文化祭も高P
連の大会までも中止とな
り、役員会も意見交換の
みの寂しい会議となり、
昨年度もコロナ禍の状況
は変わらず、体育祭、文
化祭も次々に延期となり
ました。そのなかで我々
役員の意識は明らかに変
化が見られ、コロナ禍で
学校行事が何もできな
かった子どもたちのため
にPTAとして協力出来る

ことがないかと、活発な
意見が飛び交いました。
先ずは文化祭に関し
て、学校としては感染予
防の観点や安全面を考慮
し、例年行っている食品
バザーの模擬店を中止す
ることになりました。私
たちはプロのブース販売
の方に依頼することで、
安全性や衛生面をクリア
する案を出し、野外にお
店を設置すること、販売
時には学年別に購入時間
をずらすことによって密
を避けるようにしまし
た。出店者の方には問診
と検温の実施、間隔が空
けられるようにテープで
印をつけ、担当ブースを
決めて子どもたちに大声
の会話を控えるように声
掛けをしました。教室で
密になって飲食をしない
ように、コロナ禍で使わ
なかったPTA予算の一
部でベンチ10台を購入
し、中庭に設置して食べ
る場所を増やしました。
衛生面においては、ゴミ
捨て場所を限定し、分別
の徹底とゴミ回収を役員
が行い、校舎内外にゴミ
が散乱しないように工夫
しました。また、美術部
などの文化クラブの作品
を見てもらうように、各
クラブの展示会場にスタ

ンプを置きスタンプラリ
ーを実施しました。



間隔を取りながらのキッチンカー販売



大盛況のスタンプラリー

当日は混乱なく実施で
きるかと不安でしたが、
天候にも恵まれPTA役
員が一致団結してそれぞ
れの役割を適切に果たす
ことができた、どの部署も
スムーズに進行してい
きました。子どもたちの笑
顔が私たちのやる気をさ
らに増幅させ、やりがい
のある充実した一日とな
りました。先生方のアン
ケートにも、「PTAが
キッチンカーを呼んでく
れたり、スタンプラリー
など楽しめる企画を立て



施設見学

たりして学園祭感を演出
していただいたおかげ
で、子どもたちがとても
喜んで良かったと思いま
す。」という意見を頂戴
しました。
一昨年度はコロナ禍で
使われなかったPTA予算
で、特別教室の数部屋に
エアコンを設置して、子
どもたちの学ぶ環境の整備
に使っていたきました。
昨年度はPTA役員で
校舎内外の施設を見学さ
せていただき、その結果、
大多数が女子生徒で占め
ているなか、女子トイレ
の数が少なく、設備も古
いため至急修繕をお願い
したいとの意見が出まし
た。以前からの要望もあ
り、今年度、トイレの改
修工事をしていただける
ことになりました。今後
もPTAの立場で施設を
見学させていただき、子
どもたちのためにいろ
いろな要望を出してい
きたいと思っています。



いじめ防止ピンク運動

12月には登校時に生徒
会役員とPTA役員が校
門に立ち、「あいさつ運
動」と「いじめ防止ピン
ク運動」を実施しました。
全員ピンク色のウイン
ドブレーカーを着て、手
には文字看板を持ち、い
じめ防止を訴えました。
予め生徒の要望を聞きピ
ンク色のボールペンを
PTA予算で購入し全校
生徒に配布しました。登
校時の短い間でしたが多
少なりとも生徒の意識に
響いたと思います。
また、コロナ禍でなか
なか集まって話し合う機
会が少ないので、PTA
役員間のコミュニケーション
ツールとして
LINEやZoomなど
を使って、スムーズに連
絡、相談、報告をして
きました。



令和4年度PTA役員

3 おわりに
コロナ禍でも、役員全
員が子どもたちのために
何かしてあげたい気持ち
を持って、意見を出し合
い、協力し合ってさま
ざまな行動をしてきました。
今後も色々困難な状況
があっても、保護者と学
校が一体となり、学校行
事を通じて様々な協力を
することで、子どもたち
一人ひとりが心豊かに、
社会に貢献できる人材に
育っていくことを期待し
ています。

近畿地区

奈良県高等学校PTA協議会

事業紹介 ～コロナ禍からの回復～

1 はじめに

令和元年末から全世界を襲ったコロナ禍は、社会活動をはじめ学校教育などあらゆる活動に影響を及ぼし、いまだに収束が見通せない状況である。当然、本協議会においても各種事業や諸活動にも多大なる影響を受け、中止せざるを得ない事業が多かった。しかし、ウィズコロナの中で本協議会においても、本年度から徐々に各種事業を実施できるようになった。

2 本協議会の概要

奈良県高等学校PTA協議会は、昭和27年（1952年）に発足以来、令和3年度に創立70周年を迎えた。団体名が「協議会」であり、全国高P連加盟団体の中でも数少ない名称の団体である。

3 令和4年度に実施できた事業

令和2年度及び3年度は、コロナ禍によって多くの研修会や事業を中止せざるを得ない状況であったが、令和4年度は参加制限を行いながらも多



創立70周年記念誌

県内の加盟団体としては、公立高校に加え私立高校、特別支援学校が加盟しており、令和4年度の加盟数は60単位PTAである。全国的にも学校数が少ない県であり、今後の少子化による生徒数の減少に伴い、更なる加盟団体及び会員の減少が懸念される。



特別支援教育講演会

- ① リーダー研修会（県教育委員会と共催）
- ② 家庭教育研修会（県教育委員会と共催）
- ③ 広報紙作成研修会 健全育成研修会 特別支援教育講演会
- ④ 各種研修会・講演会（役員会等）
- ⑤ 各種会議（会長会・役員会等）
- ⑥ 乗車マナー向上運動 県下一斉巡視活動
- ⑦ 教育懇談会（各単位PTAの県及び県教委への要望に対する回答と意見交換の場）
- ⑧ 広報紙コンクール及び広報紙展示会
- ⑨ 各種表彰事業
- ⑩ ブロック活動助成



教育懇談会

4 令和4年度に実施できなかった事業

令和4年度に実施できなかった事業は、特別支援学校を訪問し、学校の取組や子どもたちの様子を視察することにより、特別支援教育への理解を深めるための

研修会である。各種事業が再開しつつある中、3年間実施できていない。ただ、特別支援学校では基礎疾患を持つ子どもたちもおり、コロナ禍が完全に収束していない状況で、外部からの訪問により子どもたちへの感染が懸念されるために実施していない。

5 今後の課題

社会や学校では、今回のコロナ禍を契機に各種会議や研修会へのオンラインの導入が進んできている。しかし、本協議会としては機材や人員などが整っておらず、今後、その環境作りが課題となっている。

6 おわりに

新型コロナウイルス感染症が5類へと変更される方向であるが、まだまだその終息が見通せない状況である。そして、社会や学校においてもオンライン会議や在宅勤務などの新しい技術の導入やシステムを変えることにより、コロナ禍にも対応出来るようになってきた。本協議会においても、今後、新しい技術や手法を導入し、工夫・改善行

うとともに、すべてがコロナ禍前に戻るのではなく、各種事業の内容を再考、精選して、今後の各単位PTA活動の一助となるよう運営に努めていきたい。



中国四国地区

愛媛県高等学校PTA連合会

愛媛大会

えひめ
笑媛から始まる絆づくり」

無限の可能性を秘めた子供と共に

第64回中国・四国地区高等学校PTA連合大会愛媛大会は、7月26日（火）、愛媛県民文化会館大ホールにおいて、中国・四国地区各県より約1200名の会員が一堂に会し、盛大に開催されました。

開会行事では、中四国高P連・飛地明國会長から「当大会は令和元年の鳥取大会以来、約3年ぶりの開催となります。本大会を開催するにあたり、これまでの常識や価値観にとらわれることなく環境の変化に対応していかなければならないと感じ、開催実現に向けて実行委員会を中心に今まで準備をして参りました。このように盛大に開催できたこと、多くの関係者の皆様にも深く感謝申し上げます。また、愛媛県内では県立高校の振興計画が発表されました。学校がどうなるかは



その地域にとつて、大きな分岐点です。これから数年間は課題、難題が山積であると思います。が、学校・地域・家庭が一体となつて問題を解決し、子供たちを育てて欲しいと願っています。」と大会開催に向けての挨拶に続き、山田博章全国高P連会長、中村時宏愛媛県知事、野志克仁松山市長の祝辞をいただきました。



続いて、本県今治FCのオーナーである今治・夢スポーツ代表取締役会長で日本サッカー協会副会長岡田武史氏を講師に迎え、「今治からの挑戦」の演題で講演が行われました。講演の中で「私は教育に関しては素人です。ただ、素人なりにいろいろなことにチャレンジしようとしています。環境教育や野外体験教育、そして今度是一般の教育にも少しかわっていきたいというふうに思っています。今治でやっている

こと、また、教育に関してやっていると話をされました。スペイン人の指導者と出会って、彼がこう言ったんです。スペインにはサッカーの型があるんだけど、日本にはないのか、と。え？我々は型にはめちゃいけない、自由を与えてきたのに、あれだけ自由を奔放にしているスペインに型があるって、なんだそれは、と。まったく逆じゃないか。そこで日本人も世界で勝つための日本人の原則、岡田メソッドを作って16歳までに教えて、あと自由にする。古来日本の武道に『守破離』というのがあります。最初、師匠の教えを守って、そしてそれを破って離れていく。ひよつとしたら、これは最高の指導法なんじゃないか。」サッカー日本代表監督の時のことや環境問題など多方面の渡ったお話をさ

れました。

愛媛県内の高校魅力化の取り組みとして、午前のは上浮穴高校、内子高校小田分校、長浜高校、午後からは弓削高校、三崎高校、野村高校、北宇和高校の生徒さんがそれぞれの学校における魅力化の取り組みを発表されました。

昼食後に松山中央高校吹奏楽部のエネルギーな演奏に続き、研究協議では、岡山県高P連・光岡宏文副会長、愛媛県高P連・水田寿副会長の両氏を議長の前進により、3校の実践・研究発表が行われました。「地域とともに」地域と連携し、進化していくPTA活動」と題して山口県立山口中央高校・中村二朗PTA顧問、「地域と歩む農経PTA」と題して、香川県立農業経営高校・岡内史行保護者代表、「地域と共に歩む新居浜東高校」と題しては生徒たちのためにと題して、愛媛県立新居浜東高校・古川拓哉PTA会長から、それぞれの地域や学校の特性を生かした興味深い内容の発表が



あり、その後活発な質疑応答が行われ、大変有意義な研究協議となりました。

閉会行事では、飛地明國会長と次期開催県の菊地潤岡山県高P連会長による岡山県の紹介と挨拶があり、大会は無事終了しました。

今大会では、県内の高校生による発表や農産物の販売、特別支援学校の作品の販売もあり、松山工業高校生徒製作の「坊ちゃん列車」の試乗など愛媛県の元氣いっぱい高校生の活動を見ていただきました。

アンケート結果を踏まえ感じたこと

最初に令和4年度全国高等学校PTA連合会アンケートにご協力頂きました加盟校PTA会長様、副会長様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。また、アンケート実施に対し各県連の事務局の皆様そして携わった皆様にも心より感謝申し上げます。

調査結果は、全国高P連としての要請行動や研修会等でも活用し最終的には教育の現場に反映できるような活用を志したいと考えております。僭越ではございますが集計したデータを基に項目ごとにあくまでも私の主観ではありますが意見を述べさせていただきます。

社会活動の展開が日々、猫の目のようにくるくる変化が激しい中、量子コンピュータの登場やテクノロジーの進化等、今注目されているのは世間では対話式AI[ChatGPT]をどのように活用すべきか、また文

部科学省において教育現場における活用をどのように扱うかなど目まぐるしいスピードで私たちの生活に影響を及ぼしています。当然、そのようなスピード感で迫り来る社会の波に子供たちも当然飲み込まれそうになりながら日々の高校生活を生きて抜いているものと理解すべきだと考えることが重要です。

さてこの度のアンケートのテクノロジーのスピード感についていくためにはそれなりの環境整備が必要とされるものであるというの言うまでもないことでもあります。Wifiにおける環境整備状況は70%との内容は一刻も早く改善を提案し充足すべき点であると考えます。同時にプロジェクトの設営も同様なものと考えるところであります。なぜならばこのような整備が遅延すれば当然ながらテクノロジーのスピード列車に乗り遅れ

ることになり、単体の地方自治体に任せるといふより私は国レベルでの取り組みとすべき事案と考えるべきではないかと個人的に思うところであります。

普通教室などにおける冷暖房設備における設置状況であるが、現段階においては90%を超える勢いで充足しているのに対して特別教室や体育館などの設置状況は著しく遅れをとっている結果が出ている点にも現在の地球の気候変動を考慮すれば早急に対応し改善したい点だと感じたところであります。

トイレにおける洋式化はもはや日本文化であるシャワートイレなどの設営も同時に行うべきものと私は考えるところであります。話は少しそれますがシャワートイレは元々、障害者の為に民間のトイレメーカーが開発した製品であり、今や健常者含め海外では日本文化として高い評価をされている製品となりました。洋式化は57%という状況の中、トイレは人間の健康管理に直結するものと位置付けることもあるので是非更なる改善を促していければと考えるところであります。

教科書も無く正解、不正解の判断が難しくそして目に見えないところで子供たちの心と体の成長を促す部活動ということでも重要な教育のことでもあります。教育現場における働き方改革により、教師が部活動に関係する状況が困難な環境が発生しておりそれを補うために外部の指導者を招くということには中学校等においては文部科学省が外部指導員に委託する方針を打ち立てている最中、いずれは高校における部活動においても全面的に外部委託型にシフトされる傾向にあると予測します。しかし、委託する財源のことや、指導す

る際のコンプライアンスの境界線をどのようにすべきかの指導ガイドラインも大きな課題と考えるところであります。一步一步関係する人たちが乗り越えていかななくてはならない課題があるとこの件は強く感じるところであります。

高等教育について先進国としての役割を担ってくれる人材を育成するため子供の力強い歩みに期待します。しかし、経済的理由により進学を諦めるならば日本は更に世界からの遅れをとることは懸念するところであります。従って高等教育の無償化等子供たちのあらゆる可能性や道を自由選択できる環境整備も、先を生きる我々の責務とも感じると同時に国に働きかけるところであります。

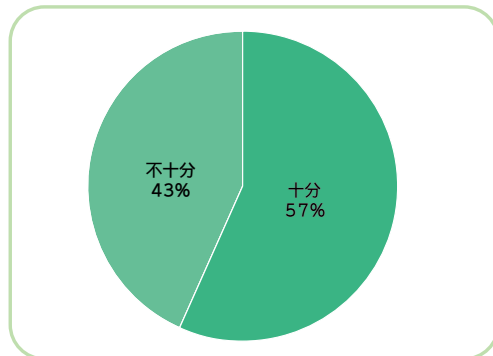
最後になりましたが、日本人の30歳までの死亡原因の第一位は自殺という事実を真摯に受け止めるべきと考えるところであります。それは現代社会における見えない戦争が起きているという感覚がしてならないのです。

調査広報委員長
伊 福 聡



【設問3】

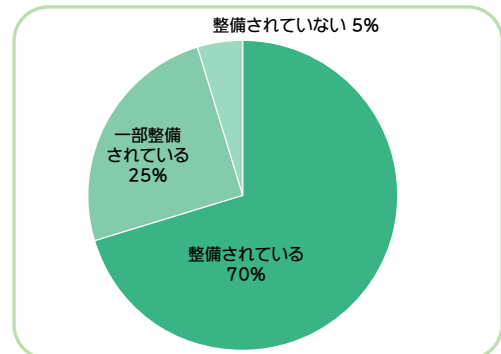
トイレの洋式化について (1,802件)



学校の学習環境についてお尋ねします

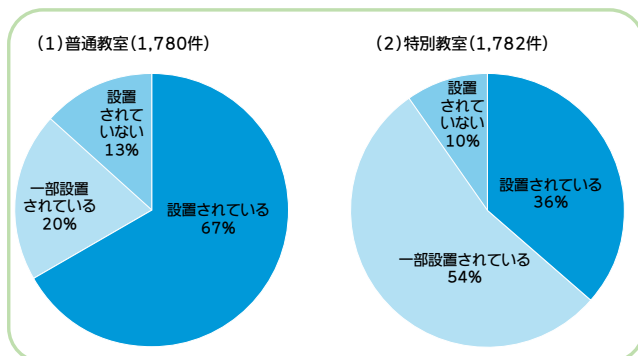
【設問1】

学校の Wifi 環境の整備について (1,796件)



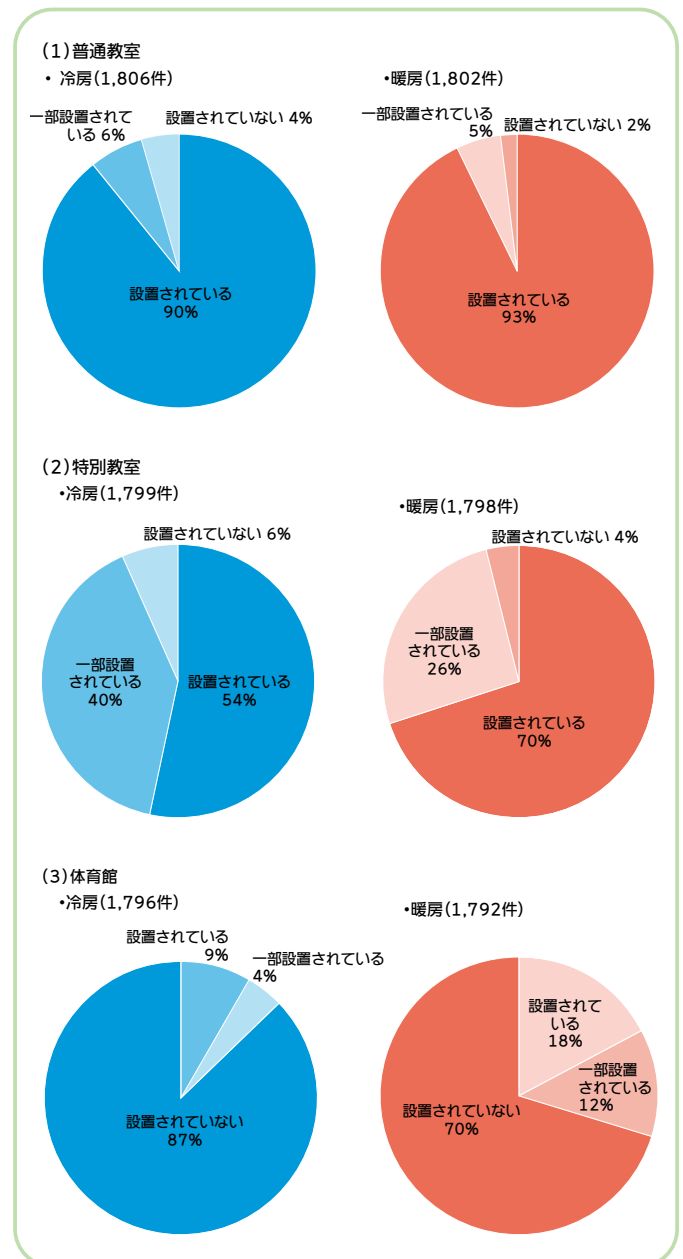
【設問4】

プロジェクターの設置状況について



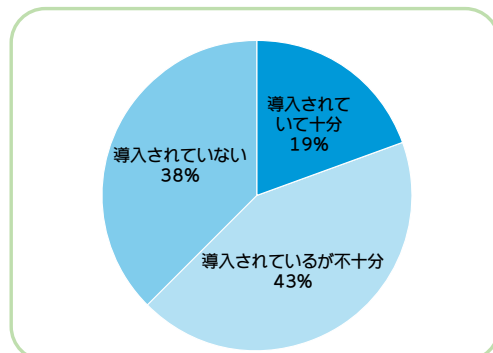
【設問2】

教室・施設の冷・暖房設置状況について



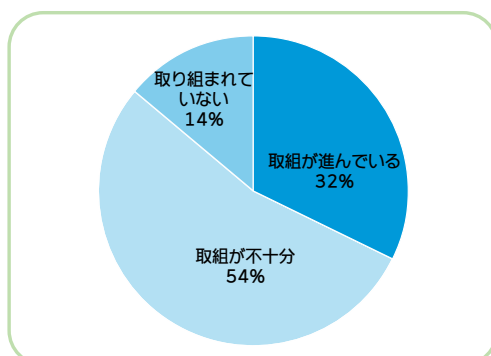
【設問5】

部活動指導員の導入について (1,766件)



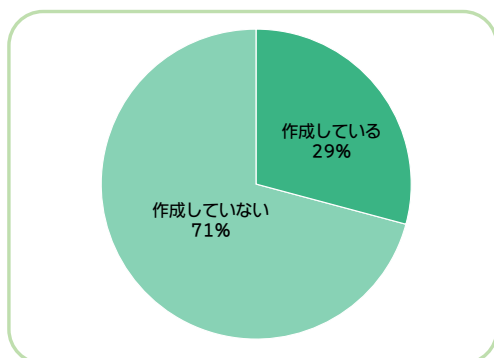
【設問6】

学校のバリアフリー化について (1,795件)



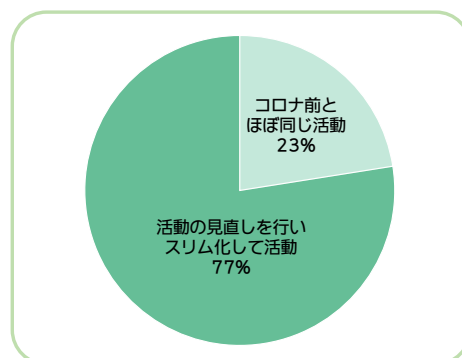
【設問11】

P T A広報誌作成における
ガイドライン(注意事項)について(1,754件)



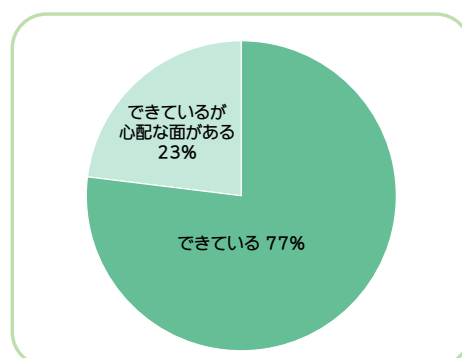
【設問7】

現在のP T A活動について(1,811件)



【設問8】

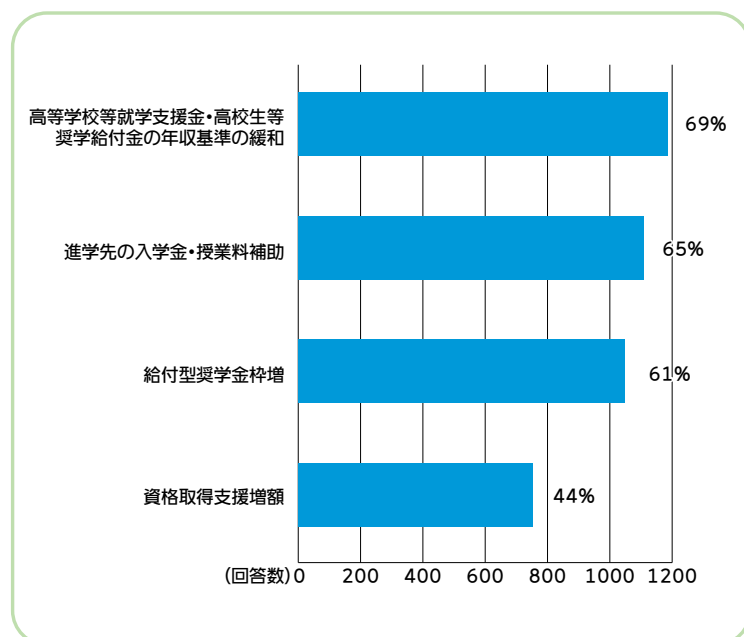
個人情報の管理について(1,803件)



国の教育に対する経済支援についてお尋ねします

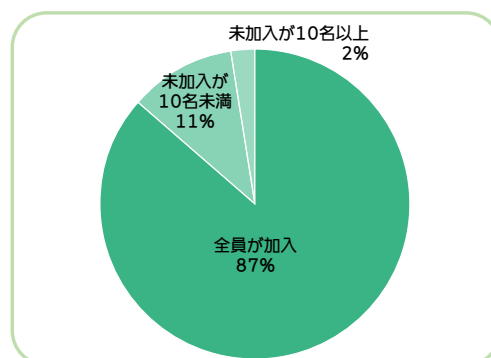
【設問12】

期待する国の教育に対する経済支援について
(複数回答可)(1,712件)



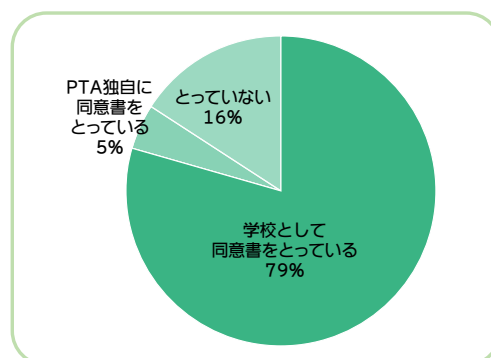
【設問9】

P T A未加入について(1,789件)



【設問10】

P T A広報誌作成における個人情報・
写真等の掲載について(1,777件)



第72回全国高等学校P T A 連合会大会2023宮城大会

大会テーマ 「豊かな杜につむぐ虹の光」
～ しなやかな強さで生き抜く力 ～



期日 令和5年（2023年）8月24日（木）～25日（金）

日程 大会第1日 8月24日（木） 分科会共通

10:00～12:00 教育視察（希望者）
東北大学キャンパスツアー（調整中）と震災遺構見学（名取市）

13:00～ アトラクション（県内高校生による合唱映像上映）
※どの会場も映像上映

13:30～13:50 開会行事

14:00～15:00 基調講演

15:15～16:30 パネルディスカッション ※第4分科会はフリートーク

16:30～ 閉会行事

大会第2日 8月25日（金） 全体会：カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）

9:00～ アトラクション
（「白A」によるプロジェクションマッピング）

9:30～10:30 開会行事、表彰式

10:40～11:50 記念講演

12:00～12:30 閉会行事

全体会 記念講演 講師 仙台育英学園高等学校 野球部監督 須江 航 氏（調整中）
会場：カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）

第1分科会 「地域教育」コミュニティスクールとグローバルの光
～ 地域教育魅力化の取り組み ～
会場：東京エレクトロンホール宮城（県民会館）

第2分科会 「学校教育」ICTで広がるキャリアデザインの光
～ 多様な挑戦で広がる世界 ～
会場：カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）

第3分科会 「レジリエンス教育」強く生きるための多様性とコミュニケーションの光
～ 自己肯定感と逆境から立ち上がる力を育む ～
会場：トークネットホール仙台（仙台市民会館）

第4分科会 「講演と情報交換会」with コロナ post コロナにおけるPTAの光
～ 皆さんで語り合おう ～
会場：仙台国際センター

第5分科会 「防災・減災教育」いのちと希望を未来につなぐコミュニティの光
～ 教訓から自助・共助の力を育む ～
会場：仙台サンプラザホール

第6分科会 「主権者教育」シチズンシップ教育が育む新たなデモクラシーの光
～ 現代的諸課題を乗り越える力を育む ～
会場：東北大学 川内菰ホール

参加費	7,500円 オンライン参加費 7,000円 ※現地参加校は、オンライン参加費は無料です		
オンライン配信内容	全体会 ライブ配信 分科会 令和5年(2023年)9月4日(月)から配信予定		
申込受付開始予定日	令和5年(2023年)5月22日(月)		
申込方法	2023宮城大会ホームページから「web申込ページ」にアクセスし、IDとパスワードを入力してお申し込みください。IDとパスワードは、日本旅行から各都道府県市高等学校PTA連合会を経由し、4月末までに郵送する予定です		
参加総数	6,000人		
各分科会受入予定人数	第1分科会 1,050人	第2分科会 1,600人	第3分科会 800人
	第4分科会 450人	第5分科会 1,400人	第6分科会 700人

会場アクセス 公共交通機関をご利用願います

【分科会・全体会場 詳細】

- ☆第1分科会：会場「東京エレクトロンホール宮城」
仙台市地下鉄南北線 勾当台公園駅下車
公園2出口 徒歩5分
- ☆第2分科会・全体会：会場「カメイアリーナ仙台」
仙台市地下鉄南北線 富沢駅下車
徒歩5分
- ☆第3分科会：会場「トークネットホール仙台」
・仙台市地下鉄南北線 勾当台公園駅下車
公園2出口 徒歩10分
・仙台市地下鉄東西線 大町西公園駅下車
西1出口 徒歩10分
- ☆第4分科会：会場「仙台国際センター」
仙台市地下鉄東西線 国際センター駅下車
東1出口直結 徒歩1分
- ☆第5分科会：会場「仙台サンプラザホール」
・JR仙石線 榴ヶ岡駅下車 直結徒歩3分
・仙台市地下鉄東西線 宮城野通駅下車
徒歩12分
・仙台駅東口徒歩13分
- ☆第6分科会：会場「東北大学 川内萩ホール」
仙台市地下鉄東西線 国際センター駅下車
西1出口 徒歩5分

全国高等学校 PTA 連合会賠償責任補償制度のお知らせ

あなたの学校も加入しませんか？
全国加盟高校の 2 校に 1 校が加入しています。

掛金

年間 400 円 (保険料 391 円 + 制度維持費 9 円) × 生徒数

※補償開始日が令和 5 年 4 月 1 日の場合。補償期間中の加入については、月ごとに掛け金が減額となります。

補償期間

令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 4 月 1 日

補償の範囲と支払済高額事故事例

<生徒もしくは P T A に過失があった場合が対象となります>



補償の範囲	補償限度額	事故発生 件数割合
1. 生徒の行為に起因する賠償責任 (生徒個人の賠償責任)	対人・対物合算 ^(注) 1 事故 1 億円 自己負担額 1 事故 5 千円 (注) 対人事故・対物事故合算して 1 億円が限度となります。	99%超
2. P T A 活動の遂行に起因する賠償責任 (P T A の賠償責任保険)	対人 1 名 5 千万円・1 事故 5 億円	1 %未満
	対物 1 事故 5 千万円 自己負担額 1 事故 1 千円 (注) 対人事故・対物事故それぞれに適用されます。	
	保管物 加害者 1 名 1 0 万円 保険期間中 500 万円 自己負担額 1 事故 5 千円	

年度	支払金額 (千円)	事故内容
H19年度	87,915	無灯火の自転車 ^(注) で歩道を走行中、後ろから人に追突し転倒させ、脳挫傷により要介護状態となり、死亡させた。 【過去最高支払金額】
H24年度	22,460	プライベートで外出中、自転車同士の接触事故。相手方脳挫傷となる、5 か月後に死亡させた。
R1年度	47,549	自転車走行中、対向の歩行者を見て右に避けたところお相手歩行者も同じ方向に避け衝突した。
R2年度	44,352	マスコミ報道事案／免責 5000 円／重複他社損保ジャパン社あり

☆上記のとおり自転車による人身事故が高額支払いになる傾向がありますが、**自転車事故に限らず国内における事故を 2.4 時間、幅広く補償しております**☆

詳しくは、「全国高 P 連賠償責任補償制度」手引き・チラシをご覧ください。
(各学校へ 1 月下旬にお送りしています。)

●制度についてのお問い合わせ窓口

一般社団法人 全国高等学校 PTA 連合会
東京都千代田区神田佐久間町 2-1
奥田ビル 301 号
TEL.03-5835-5711

●引受保険会社

引受幹事保険会社	東京海上日動火災保険株式会社 (担当：公務第二部 文教公務室)	TEL.03-3515-4133
共同引受保険会社	AIG 損害保険株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社	TEL.03-6848-8480 TEL.03-3259-4061 TEL.03-3349-9588

AIG 損保

一般社団法人 全国高等学校 PTA 連合会後援
AIG 高校生外交官プログラム
(参加費無料)
<http://www.highschooldiplomats.org>

「育てたいのは、
子供たちの未来。」
私たちは AIG 高校生外交官プログラムを協賛しています。

AIG 損害保険株式会社
TEL:03-6848-8500 <https://www.aig.co.jp>

三井住友海上

安心のゴールキーパーでありたい。

**クルマの
保険**

**すまいの
保険**

**ケガの
保険**

マングローブの森づくり。
それは、豊かな地球を
未来に届けること。

マングローブ価値共創
100 年宣言

東京海上日動
www.tokiomarine-nichido.co.jp

損保ジャパン
SOMPO Innovation for Wellbeing

**Innovation
for Wellbeing**

すべての人々の幸せと、
より良い社会のために。
私たちは、
笑顔と活力あふれる「確かな明日」へ、
イノベーションを起こし続けます。

損保ジャパンは SOMPO グループの一員です。
損害保険ジャパン株式会社
<https://www.sompo-japan.co.jp/>

